

目次

1 九州運輸局ホームページアップ情報（8月7日～8月20日掲載分）

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・各種情報
- ・分野別情報
- ・各種手続き

2 現場レポート

- ・「8月5日はタクシーの日」
～タクシーがつなぐ人の輪 地域の輪～
- ・大分臨海工業地帯の「製鉄所及び造船所見学会」を開催
- ・港湾運送事業法の遵守を再確認
～港湾労働者派遣事業派遣元責任者講習会で講義～

3 お知らせ

- ・「運輸安全マネジメントセミナー（九州）」の開催について
- ・～鉄道好きの小学生あつまれ～！～第21回「鉄道の日」記念イベント
- ・グリーン経営推進講習会開催情報

4 イベント情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報 （8月7日～8月20日掲載分）

----- 報道発表 -----

平城26年度「不正改造車を排除する運動」及び「ディーゼルクリーン・キャンペーン」強化月間における街頭検査の実施結果について

～不正改造車に20件の整備命令～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0807-seibi.pdf>

マルエーフェリー（株）及び奄美海運（株）に対する安全確保命令等の発出について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0808sennpaku-.pdf>

「平成25年度国土交通白書説明会」を開催します

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0812-syohi.pdf>

輸送の安全確保命令の発出について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0814-ryokaku02.pdf>

モーターボート競走の総利用者数、売上高ともに増加

～平成25年度管内モーターボート競走の実績がまとまりました～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0818-sennpaku.pdf>

----- お知らせ -----

「運輸安全マネジメントセミナー（九州）」の開催について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-0819-anzen.htm

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

企画競争実施予定情報

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_YOTEI

企画競争実施公示

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

企画競争結果の公表

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_KEKKA

入札結果の公表（10月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsu_kekka/1407.pdf

契約結果に係る情報の公表（10月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/keiyaku_kekka/2607.pdf

九州のうんゆ（平成26年8月20日公表分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/26.8.pdf>

----- 分野別情報 -----

《バス・タクシー・トラック》

バス（バスの申請・処分状況 7月分掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/bus_syobun2607.pdf

トラック（トラックの申請・処分状況 7月分掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/truck_syobun2607.pdf

タクシー（タクシーの申請公示状況 8月11日公示掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_kouji260811.pdf

タクシー（一般乗用旅客自動車運送事業（1人1車制個人タクシーを除く。）
経営許可申請書作成の手引き追加掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13/ryokaku02-20140820-46.pdf

《交通環境》

各県別低公害車保有台数（平成26年3月末現在）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/kankyou/teikougai_26_3_31.pdf

《観光》

外国人旅行者向け消費税免税制度

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kanko/menzeiten.htm>

《鉄道》

「鉄道の日」～毎年10月は九州レイルマンス～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/tetudou/file08.html>

----- 各種手続き -----

海技試験制度・合格発表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

2 現場レポート

「8月5日はタクシーの日」 ～タクシーがつなぐ人の輪 地域の輪～

タクシーが我が国に誕生したのは、大正元年（1912年）8月5日です。現在の東京・有楽町に設立されたタクシー会社が、タクシーメーターを装備したT型フォード6台で営業を開始しました。

全国のタクシー協会が組織される一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会は、平成元年(1989年)に8月5日を全国統一の「タクシーの日」と定め、毎年全国各地でキャンペーンを実施しています。

九州運輸局の所在する福岡市においても、一般社団法人福岡市タクシー協会が、創立50周年を記念して「おかげさまで福岡市タクシー協会50周年」と題して8月5日に、JR博多駅博多口特設会場にて「タクシーの日」イベントを実施しました。

JR日帰りグルメやタクシーチケットなどの豪華賞品が当たる抽選券付きうちわを配布し抽選会を開催。また、地元プロサッカーチーム「アビスパ福岡」とのタイアップイベントとして、選手とのふれあいイベントやサイン・握手会、選手のサイン入りユニフォームやサッカーボールがもらえるじゃんけん大会が行われました。

じゃんけん大会では、レア賞品をめぐる参加者の真剣勝負が繰り広げられ、特設会場付近は熱気に包まれ大いに盛り上がりました。

その他、九州各地においても、ポケットティッシュやオリジナルタオルの配布、献血運動、車椅子の寄付など、様々なPR活動が実施されました。

タクシーの日のキャンペーンにあたっての全国統一テーマ・キャッチフレーズは、「タクシーがつなく人の輪 地域の輪」です。これは平成18年(2006年)6月に応募された作品の中から採用されたものです。

「タクシーの日」を通じ、タクシーが今まで以上に気軽に利用できる地域の足として定着し、「人の輪、地域の輪」が広がっていくことを願っております。

「タクシーの日」イベントの様子は下記URLからどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_274_1.pdf

【自動車交通部旅客第二課】

「海洋立国・日本」を支える「海事産業」を中学校教師が学び、教育現場で伝えてほしい！

～大分臨海工業地帯の「製鉄所及び造船所見学会」を開催(7月30日)～

大分県では海事産業の役割は大きく、中でも「造船業」は大分県中・南部の基幹産業として地域経済を支えています。一方、我が国の造船技能労働者は平成22年に全国で7万人を超えていたものの、造船不況もあり平成26年には約6万5千人に減少しており、また、平成24年末からの円高是正により建造受注量が回復する中、他の海事産業と同様に「労働者の高齢化」や「後継者不足」「技術伝承」が喫緊の課題となっています。

さらに、船を動かす船員においては、その年齢構成は50歳以上の割合が40%を超え、特に国内輸送を担う内航海運では50%を超えており、後継者不足が深刻な問題となっています。

特に、九州は海事産業のウエイトが高い地域であり、九州運輸局では海事関係団

体と連携し、平成20年3月に「九州海事産業次世代人材育成推進協議会」を組織し、各地で児童、生徒向けに、海の大切さや海事産業の果たす役割について広報啓発活動を実施しているところです。

主な活動は陸上の仕事に比べて、日頃目にすることの少ない「海の職場見学会」等を実施しており、大分運輸支局では、これまでに県内小学校高学年児童を対象に「海事産業」の施設として航海訓練所の練習船、造船所、港湾コンテナターミナル、冷蔵倉庫等の見学会を実施して「海への興味・親しみ・関心づくり」のための動機付けに取り組んで参りました。

今回、県下では初めての企画として、中学校教師に海事産業への理解・関心を深めて頂き、学校教育で生徒に対する教育指導、進路選択への参考にしてもらうことを目的に「海の職場見学会」を開催しました。

参加者は、大分県内の中学校教育関係者（校長、社会科並びに進路指導教師）、海事関係の自治体職員、そして、平成20年3月に全国のトップを切り設立された「佐伯海事地域人材確保連携協議会メンバー」の「大分県立・津久見高等学校海洋科学学校」の進路指導教師など総勢26名となりました。

なお、当日は台風12号の影響を心配しましたが予定どおり開催の運びとなり、最初の見学先の「新日鐵住金(株)大分製鐵所」では、大分運輸支局の大隈次長より「海に囲まれた日本は国民生活、経済活動に必要な物資の殆どを海上輸送に頼っている。海事産業は陸上の産業に比べて日頃目にすることがなく、子供達の職業選択肢になりにくい。本日の見学会で海事産業の重要性について理解を深め、今後の教育指導、進路指導に活用していただきたい。」と趣旨説明を行いました。

続いて製鐵所構内の見学では、着岸中の外航船が鉄鉱石の荷役作業（陸上揚げ）をしており、参加者は興味深く見入っていました。

また、同所職員より「我が社は98%を海上輸送に頼っている。大型鉱石運搬船の接岸作業、鋼材の積み込み等の現場作業に、船員、港湾運送作業員、タクボート事業者、通関関係者等の様々な業種の人々が携わっている。海事産業は大変魅力があり、多国籍の人々とも関わる幅の広い仕事」との説明がありました。

次の見学地の「南日本造船(株)大在工場」では、船造りの魅力や生産ライン及び、我が国の造船技術の高さなどについて説明があり、「建造ドック」での外航貨物船の建造作業や、大在工場の全長にわたって移動可能である高さ155mの船体ブロック運搬の「大型クレーン」を見上げた瞬間、その圧倒的なスケールに驚きの声が上がりました。

当日は、NHK大分放送、OBS大分放送、大分合同新聞のマスコミ3社より取材があり、地域での関心の高さが伺えました。

教師へのインタビューで「初めて海事施設を見た。本日学んだ海事産業の役割、重要性を生徒にしっかり伝えて行きたい。まず、海の職場に興味を持ってもらうことから始めたい。」とのニュースが流れ、また、翌朝の新聞に見学記事が掲載され、九州運輸局の「海事産業次世代人材育成推進事業」の取り組みが広く紹介されたところです。

見学会後に実施したアンケートでは、参加した教師（校長1名を含む）13名の内、

今回の見学会に参加するまで殆どの教師が海事産業に関心を持っておられず、「海の仕事」を挙げると主に「漁師」「船員」「海上保安官」との回答でした。なお、授業で海事産業を取り上げる機会が「滅多にない」と答えた教師が殆どで、その理由としては「授業範囲が多岐にわたり海事産業を取り上げる時間がない。」「授業で用いる「社会科教科書」での取扱いが少ない。」「海事産業に関する知識不足」を挙げていました。

見学会を終えての感想では、殆どの教師が「海事産業に興味を持ち、その重要性を理解した。」と回答し、「今後、授業で海事産業を取り上げることが増えそうだ。」。或いは「学校で生徒に海事産業を正しく伝えたい。」との回答をいただきました。

大分運輸支局ではアンケート結果を踏まえ、今後も海事産業の魅力や船員職業を広く伝える等、各海事職場の認知度向上を図り、特に、中学校生徒の進路指導段階における学校教育の重要性を捉え、海事職場各位のご協力をいただき、海事職場見学会等を通じ中学校教師に対する海事産業への意識向上・啓発に取り組んで参ります。

海の職場見学会の様子は下記URLからどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_274_2.pdf

【九州運輸局大分運輸支局】

港湾運送事業法の遵守を再確認

～港湾労働者派遣事業派遣元責任者講習会で講義～

8月7日、北九州市門司区で開催された、一般財団法人港湾労働安定協会主催の港湾労働者派遣事業派遣元責任者講習会に講師として出席しました。当初の開催日は7月10日でしたが、台風の影響で1ヶ月延期となり、今回も台風が気になるどころでしたが、無事開催となりました。

この講習会は、港湾労働者派遣事業の派遣元責任者が、関係法令、職務、必要な手続き等について理解を深めるために開催されているもので、終了後は、協会から「受講者証明書」が発行されます。

当課では、「最近の港湾行政」及び「港湾運送事業法の概要」等についての講義を行いました。「最近の港湾行政」については、国際コンテナ戦略港湾政策を改正港湾法と絡めて説明をしました。

港湾運送事業法の概要では「法の成立」「法の目的」「荷役形態」など、港湾運送事業の基本的なものを全部で9項目にわたって説明を行いました。「港湾運送事業は分かりにくい」と耳にすることがありますので、まずは基本的な部分を再確認していただき、法令遵守の認識をあらためてもっていただきたいと思います。説明をさせていただきました。

この講習会では、他に山口労働局と福岡労働局から労働者派遣法や港湾労働者派遣事業についての講義があり、主催者からは事務手続き等の説明がありました。そして、季節柄「港湾における熱中症対策」についての講義もありました。

九州運輸局としましては、このような機会も捉えながら、今後も港湾運送事業の健全な発展に積極的に取り組んでまいります。

【海事振興部 港運課】

3 お知らせ

「運輸安全マネジメントセミナー（九州）」の開催について

運輸安全マネジメント制度の普及・啓発、浸透・定着に向け、運輸事業者の安全担当者を対象とした講習会「運輸安全マネジメントセミナー」が九州で開催されます。

開催場所：九州運輸局（福岡市博多区、福岡合同庁舎新館 7階 海技試験場）

開催日時：

[1]ガイドラインセミナー

平成26年9月24日（水）13:00～17:00（4時間）

[2]内部監査セミナー

平成26年9月25日（木） 9:00～12:00（3時間）

[3]リスク管理セミナー

平成26年9月25日（木）13:00～17:00（4時間）

対象者：各運輸事業者において安全担当部署に所属する方

詳しくは下記URLをご覧ください。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-0819-anzen.htm

【安全・防災危機管理調整官】

～鉄道好きの小学生あつまれー！～

第21回「鉄道の日」記念イベント

- ・本物の列車を使った運転体験
- ・列車運転シミュレーター体験

「鉄道の日」九州実行委員会（事務局：鉄道部計画課）では、鉄道の魅力を広くアピールするとともに、便利さ・楽しさを実感し、より身近に感じてもらうため、毎年10月を「九州・レイルマンス」と定め、月間を通して各種イベントに取り組んでいます。

このイベントの一環として、鉄道事業者の協力のもと、小学生を対象に、本物の列車の運転席に座って駅構内の線路を実際に操縦する運転体験や、実際にプロの列車運転士教育に使用している運転シミュレーター体験などを実施します。

列車運転体験（小学3年生～6年生）保護者同伴

日時：10月18日（土）午前10時～

場所：平成筑豊鉄道（金田駅構内）

募集人員 30名

日時：10月18日（土）午前10時～

場所：筑豊電気鉄道（楠橋車庫内）
募集人員 25名

運転シミュレーター体験（小学生）保護者同伴

日時：10月4日（土）午前10時～

場所：西日本鉄道（宮の陣電車教習所）

募集人員 25名

日時：10月11日（土）午前10時～

場所：JR九州（南福岡運転区・車両区）

募集人員 25名

日時：10月25日（土）午前10時～

場所：福岡市交通局（姪浜車両基地）

募集人員 25名

列車運転体験及び運転シミュレーター体験は、各会場ごとの事前申し込み制で、応募多数の場合は抽選となります。募集締め切りは9月1日必着。体験開始時間は事務局で指定させていただきます。

応募要領については下記URLにてご覧いただけます。

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2014-0801-keikaku.pdf>

【鉄道部 計画課】

グリーン経営推進講習会開催情報

九州運輸局では、グリーン経営の普及・推進を図るため、下記日程でグリーン経営推進講習会を開催します。

熊本市：トラック事業（H26.9.9）

熊本市：バス、タクシー事業（H26.9.10）

グリーン経営については、「グリーン経営推進マニュアル」に基づいて一定レベル以上の取り組みを行っている事業者の認証・登録を行うことで、事業者の環境改善の努力を客観的に証明し、取組意欲を高め、企業の社会的評価の向上を図るとともに業界における環境負荷の低減につなげていくものです。

また、環境負荷の低減だけでなく、燃費向上や交通事故、車両故障の削減等にも効果があることも、これまでの取り組み事例から確認されています。

詳しくは、下記URLに掲載しています。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-0715-kankyo.htm

【交通環境部 環境課】

4 イベント情報

かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会

日時：平成26年8月23日（土）花火打上げ19：30～20：40

場所：鹿児島県鹿児島市本港新町 鹿児島港本港区

概要：ミレニアムを機に始まった九州最大の花火大会。桜島と錦江湾という絶好のロケーションで繰り広げられる真夏の夜のスペクタクルです。2尺玉の連弾や1尺玉の連発、創作花火や音楽花火など見どころ満載。

国宝臼杵石仏火まつり

日時：平成26年8月30日(土)

場所：臼杵市深田 石仏一帯

概要：石仏火まつりは、石仏のご加護への感謝と、盆に返ってきた先祖への送り火、そして虫追いとして800年前から深田地区に伝えられてきました。19時になると1000本の松明とかがり火に一齐に火が灯され 石仏周辺一帯に幻想的な景色が広がる夏の風物詩です。

//////// 編集部より //

早いものでお盆も終わり、夏休みも残り10日ほどとなりました。

8月に入ってから雨の日が多く、お盆休みで帰省中の子供達には少し気の毒でしたが、TVで流れていたUターンのニュースでは子供達の笑顔が溢れていました。これからは夏休みの宿題が気になるころでしょうか。しっかり頑張ってください！

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail: mm-kyushu@gst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192